

実際にご提案させていただいた新郎新婦様の
コンセプトシートを元に再編集したものです。
ご参考にご覧ください。

Flower Wedding Story for TAKUYA & YUMI



Wedding Planner / Flower Designer

KURUMI

Case 1 Flower Wedding Story For TAKUYA & YUMI

Concept WAGOCORO

和心

大切な三つのこと

- 一 ふたりらしいおもてなしをすること
- 二 日本の伝統を取り入れること
- 三 ご縁を大切に演出を取り入れること

ふたりの人情深さ、優しさ、丁寧さに触れ和の心に通じていると感じました。

「和の心」それは「お互いの事情も違う人たちが、協力し合い助け合って共に幸せに暮らすことを願い、そう勤める心のこと」

まさに、私はおふたりのこと！と思い、これをコンセプトにしようと決めました。

そして心だけでなく、“和の文化”もとても大切にしているおふたり。

広島での神前式、和装をお召しになること、浅草での暮らし。

ご縁や伝統を大切にしていращやるからこそ、これまでのふたりの道がある。

“WAGOCORO”を大切に、ご縁と伝統を大切にするウェディングをつくりましょう。

Coordinate

Theme

SAKURA

日本の国花である桜。

桜の木の下で、喜びや感動を感じるように

ふたりのウェディングでも

いつものように笑いの絶えない時間となるよう

願いを込めた空間に仕上げます。

桜で日本の春とふたりのもてなし感じながらも、優しさや柔らかさを表現。

ナチュラルジャパニーズをご提案します。

Color



Scene 1

期待を感じさせて

舞台はおふたりのホームタウン。

ゲストが駅で降りると、そこには歴史と賑わいのある街並。

橋を渡り象徴的な風景と、もしかすると満開の桜を眺めながら、

ふたりのウェディングステージへ

「どんなウェディングだろう」期待を感じさせてくれます。

橋を渡って、5分程ビルの裏側に着きました。

それはイベントホール…！？ここで本当に合ってるのかな？



Scene 2

ふたりのステージ

ふたりのウェディングステージはイベントホール

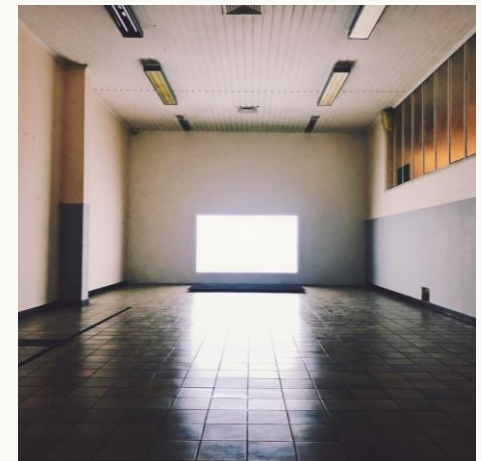
いつも区民のために、シンポジウムや講演会、式典などが開かれている“人が集う場所”。

そんな場所が、ふたりのハレの日に大切なご家族、恩師、お仲間、ご友人、

みんなが集い心を交わすためのステージになります。

【Date Base】

- ・最寄駅 浅草駅
- ・推定着席人数 ○○名
- ・料飲 ケータリング
- ・お持ち込み制限無し



Scene 3

桜の歓迎

ゲストはいよいよ会場へ。

ゲストへ「ようこそ」の気持ちを表す始めの場所が入り口です。

そこにはゲストを歓迎するための桜のシンボルツリーとふたりのウェルカムボードを飾りましょう。

日本の国花である桜でお迎えすることは、和ゴコロポイントです。

会場に入ると広々とした解放感のある空間が広がります。

ふたりのお祝いのもととして、テーブルにはクロス、グラスやプレートが並べられ、

お花があしらわれた空間は晴れやかに様変わりしています。

ゲストも思わぬ光景に驚かれるでしょう。



Scene 4 Let's Start

披露パーティーの始まりはオープニングムービー。
これは、本でいう「まえがき」みたいなもの。
ただ写真を上映したり、パーティーが始まる合図だけでなく、
この日ゲストにお伝えしたいことや、なぜこの場所であるのか、
想いの背景を表現すれば、ゲストがその後の時間をより深く感じていただけます。
そしてふたりが入場をすると、みんなが笑顔で迎えてくれます。



Scene 5 伝統とふたりらしさ

伝統技法を大切にした手作り酒樽に、お酒好きのおふたりが
おすすめする日本酒を入れて。
鏡開きをした後は、お世話になった方をふたりの元へお呼びして
改めて一緒に乾杯をします。
他のゲストもご自身の名前が刻印された升を手に、
おふたりの元に歩み寄っていらっしゃいます。
できるだけたくさん、ゲストとお顔を合わせお話ししましょう。

名入れの升は席札にも。
おもてなしの気持ちが
伝わるように。



Scene 6 飽きない時間

ゲストからたくさんのお祝いの言葉をいただいたり、
お写真を撮っていたりすると楽しいお時間はあっという間。
おふたりはそれぞれ好きな方と会場を歩いて次のお支度へ。

おふたりがいらっしゃらない時間には、
広島での結婚式のご報告DVDをご覧いただきながら、お料理を楽しむ時間です。

またゲストブックやゲストのご紹介パネルなどを作って、
ゲストおひとりおひとりのご紹介をすると、ゲスト同士の会話のきっかけにもなります。
コミュニティを大切にする和ゴコロポイントです。



Scene 7 初めて見る姿

ウェディングドレスをお召しになった由実さん。
ドレス姿は当日まで拓也さんにも内緒にしておきましょう。

入場口の手前では、拓也さんとお父様が背を向けてお待ちしています。
由実さんがおふたりを呼びかけるとふたりは振り返り、思わず顔がほころびます。
白無垢姿も素敵ですが、由実さんのウェディングドレス姿も格別でしょう。



Scene 8

改めて感じる尊さ

由実さんはお父様とご一緒に入場です。

それは広島での神前式では一緒に歩くことが出来なかったから。

会場の皆さまもきっとおふたりの姿に胸がほっこりされます。

お父様から由実さんの手を拓也さんにお渡しするとき、

改めて、ご結婚の尊さを感じられるはずです。



Scene 9

ひとつになるセレモニー

おふたりが会場に揃われたら、恒例のケーキカット…ではなく“植樹セレモニー”を。

これから絆を育てていく家族のシンボルとして、ファミリーツリーを植樹します。

だけど、家族として進んでいくためには来てくださった皆様のお力添えが必要です。

そんな気持ちを込めて、ゲストの皆さまから鉢に土を入れていただきます。

そして、おふたりが仕上げとして土を入れお水をあげて完成させます。

ゲストもただ写真を撮るだけではなく、おふたりのセレモニーに関わることは

とても嬉しいでしょう。皆さまとのご縁を大切にするセレモニーも和ゴコロポイント。



Scene10

思いっきり笑う時間

おふたりはゲストの元へ、ご挨拶に。

お写真を撮りながら、おひとりおひとりにありがとうを伝えましょう。

そして、由実さんのお友達に演奏もしていただいたり、

ゲストと一緒におひらきまで楽しめます！



Scene11

つづくおもてなし

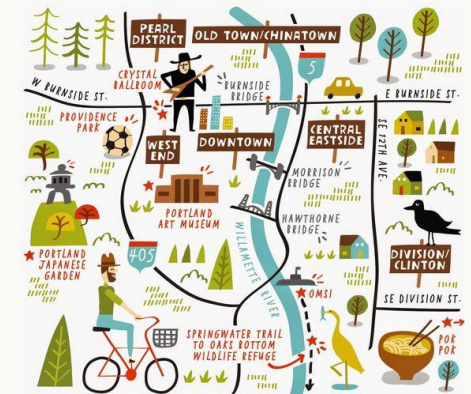
おひらきの後まで、ゲストが楽しめるように。

例えばプチギフトには、浅草名物のお菓子とおふたりの

浅草オススメ観光MAPを付けてみては？

初めての浅草ってよくわからない。でもふたりがオススメなら安心！

「おもてなし」が和ゴコロポイントです！



Introduction

La natureのプロデュースで大切にしていることは、
常に“ふたり”が基準であることです。

結婚式の慣習や式場の常識ではなく、ふたりらしさや想い、人との繋がりを基準にして
型にハマらない、ただ人をもてなす場としてふさわしいウェディングを
ひとつひとつ、作りあげていきます。

型にハマらないことは、一般的な式場とは違い、準備や調整が大変なこともあります。
でも、そうしてふたりのこだわりでつくられた一日は
ゲストも「今までで一番いい式だった」と思ってくれるはずです。

私は、その成功へと道をつくる人。
おふたりが、間違いなく素晴らしいゴールにたどり着けるよう、全身全霊でサポートいたします。

Wedding Planner & Flower Designer KURUMI